

県内企業景気動向調査報告（2025年4～6月期）

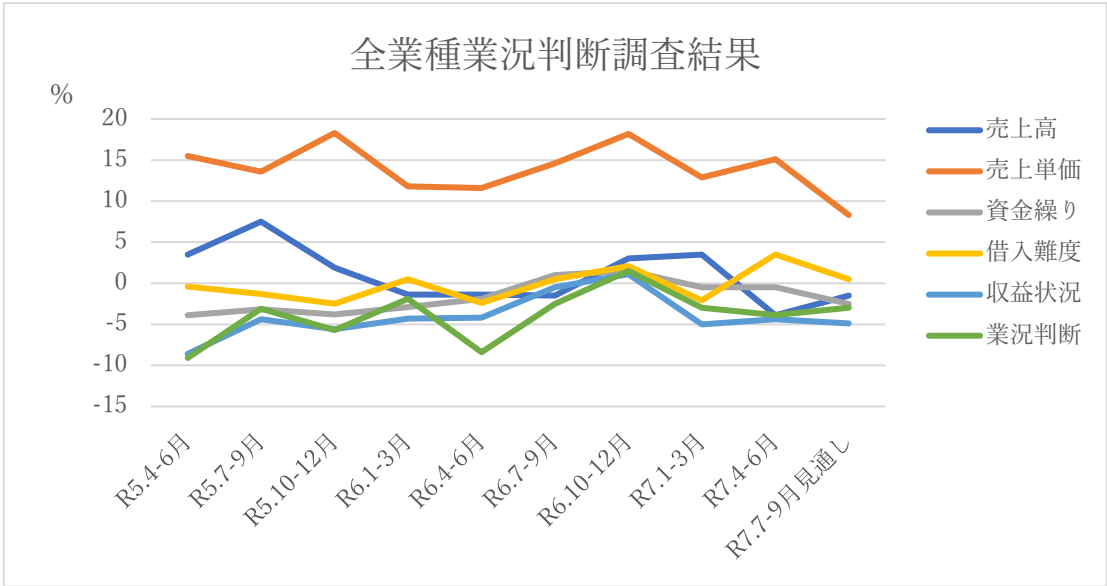
今期の「業況判断」は下降、来期はわずかに上昇する見通し

|      |                                                     |
|------|-----------------------------------------------------|
| 調査対象 | 鳥取県内企業（鳥取県下4商工会議所の調査による）                            |
| 回収数  | 102社【製造業27社、非製造業75社（建設業23社、卸売業20社、小売業15社、サービス業17社）】 |

＜今期・来期の状況＞

全業種における今期の状況は、「売上単価」と「借入難度」、「収益状況」が上昇、「資金繰り」は横ばい、「売上高」と「業況判断」が下降している。最も大きく変動したのは「売上高」で、前期から7.4ポイント下降した。業種別の「業況判断」では、製造業が前期から14.8ポイント下降、非製造業が4.1ポイントの上昇を示した。非製造業は建設業以外の業種が上昇傾向を示しており、最も上昇が大きかったのはサービス業で、前期から10.5ポイントの上昇となっている。

来期の見通しについては、「売上単価」「資金繰り」「借入難度」「収益状況」の4つの項目で下降が見込まれている。中でも「売上単価」は6.8ポイントと最も大きい下降が予測されている。業種別の「業況判断」では、製造業と建設業が上昇、小売業が横ばい、卸売行とサービス業は下降する見通しとなり、最も変化が大きいと予測されているのは建設業の4.3ポイントの上昇であった。



| 前年同期比＊( )内は2024. 4～6月期の数字 |     |                |               |                |               |                 |                 | 来期(2025. 7～9期)見通し＊( )内は前年同期の数字 |               |               |               |                 |                 |  |  |
|---------------------------|-----|----------------|---------------|----------------|---------------|-----------------|-----------------|--------------------------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|-----------------|--|--|
|                           | 回収  | 売上高            | 売上単価          | 資金繰り           | 借入難度          | 収益状況            | 業況判断            | 売上高                            | 売上単価          | 資金繰り          | 借入難度          | 収益状況            | 業況判断            |  |  |
| 全産業合計                     | 102 | -3.9 ( -1.4 )  | 15.1 ( 11.6 ) | -0.5 ( -1.9 )  | 3.5 ( -2.4 )  | -4.4 ( -4.2 )   | -3.9 ( -8.4 )   | -1.5 ( -1.4 )                  | 8.3 ( 7.5 )   | -2.5 ( -3.3 ) | 0.5 ( -2.8 )  | -4.9 ( -4.7 )   | -3.0 ( -3.8 )   |  |  |
| 製造業                       | 27  | -3.7 ( 4.6 )   | 16.7 ( 9.1 )  | 1.9 ( -3.0 )   | 5.6 ( -4.6 )  | -3.7 ( 6.1 )    | -3.7 ( -8.4 )   | 5.6 ( -3.1 )                   | 9.3 ( 7.6 )   | -3.7 ( -6.1 ) | 3.7 ( -6.1 )  | 1.9 ( -9.1 )    | 0.0 ( -3.3 )    |  |  |
| 非製造業                      | 75  | -4.0 ( -4.0 )  | 14.5 ( 12.7 ) | -1.4 ( -1.4 )  | 2.7 ( -1.4 )  | -4.7 ( -8.8 )   | -4.0 ( -10.0 )  | -4.1 ( -0.7 )                  | 8.0 ( 7.4 )   | -2.1 ( -2.0 ) | -0.7 ( -1.4 ) | -7.3 ( -2.7 )   | -4.1 ( -4.0 )   |  |  |
| （建設業）                     | 23  | -4.4 ( -4.4 )  | 8.7 ( 10.9 )  | 2.2 ( 2.2 )    | 6.6 ( 0.0 )   | 4.6 ( -8.7 )    | 4.4 ( -4.4 )    | -2.2 ( 0.0 )                   | 8.7 ( 10.9 )  | 0.0 ( -2.2 )  | 2.2 ( 0.0 )   | 0.0 ( -6.5 )    | 8.7 ( 0.0 )     |  |  |
| （卸売業）                     | 20  | 5.0 ( -13.2 )  | 30.0 ( 18.5 ) | -2.5 ( 0.0 )   | 2.5 ( 0.0 )   | -2.5 ( -19.5 )  | 0.0 ( -21.1 )   | -2.5 ( -10.5 )                 | 17.5 ( 13.9 ) | -2.5 ( -2.7 ) | 2.5 ( 0.0 )   | -12.5 ( -2.7 )  | -5.0 ( -7.9 )   |  |  |
| （小売業）                     | 15  | -16.7 ( -8.9 ) | 16.7 ( 8.8 )  | -6.7 ( -11.8 ) | -3.4 ( -8.8 ) | -23.3 ( -14.7 ) | -17.9 ( -17.7 ) | -10.8 ( -3.0 )                 | 6.7 ( -3.0 )  | -3.3 ( -3.0 ) | -3.4 ( -5.9 ) | -16.7 ( -12.5 ) | -17.9 ( -11.8 ) |  |  |
| （サービス業）                   | 17  | -2.8 ( 12.5 )  | 2.8 ( 12.5 )  | 0.0 ( 3.3 )    | 3.2 ( 3.3 )   | -2.8 ( 9.4 )    | -8.3 ( 3.1 )    | -2.9 ( 12.5 )                  | -3.0 ( 10.0 ) | -3.3 ( 0.0 )  | -6.7 ( 0.0 )  | -2.9 ( 12.5 )   | -8.8 ( 3.2 )    |  |  |

BSI＝1/2(X-Z)、X＝上昇・増加、Y＝横ばい、Z＝減少・下降、ただし(X+Y+Z＝100)

＜直面している経営上の問題点＞

- 1位：原材料・仕入価格上昇（20.62%）
- 2位：経費の増加（18.56%）
- 3位：人手不足（13.75%）
- 4位：消費・需要の停滞（11.68%）
- 5位：売上・受注の減少（11.00%）

## <業種別の問題点等>

### ◆建設業

- ・3年先位を見据えて色々と動いているので、国には中長期的なビジョンを示してほしい。直近の消費税がどうなるのか等もちろん消費マインドにも左右するのでどうするかを早く決めてほしいと思います。
- ・熱中症対策が限界に近い。

### ◆製造業

- ・人手不足が解消できません。行政のもっと手厚い援助を希望します。県立ハローワークからは一度も紹介などありません。全く何をしておられるのやら。
- ・物価高騰に際しては、賃金を上げて対応しましたが追いつきません。2万円の給付などやめて、消費税減税か社会保障費の減額が良いのではと思います。
- ・原材料、エネルギー価格高騰による価格転嫁が十分にできておらず、更に従業員獲得のための昇給をした労務費も価格に反映しにくい環境である。  
トランプ関税による景気後退の状況が読みづらく、大手企業の受注減等を下請業者に値下げ要求として反映しないで欲しい。
- ・業界では、近年の原材料の価格高騰による製品価格の値上げで消費者の購買意欲が低迷しており、しばらくは辛抱の年が続くような雰囲気です。各社とも新分野への進出を模索しており厳しい現状です。弊社においては農業機械ばかりではなく酪農やゴルフ場の製品も作っているので、悪いものもあれば良いものもあるというのが現状で、前年並みの成績で推移しています。コロナによる影響はもうありません。原油高・物価高騰においても製品の価格転嫁は順調に進んでおり、影響はさほど感じておりません。
- ・廃業、倒産する販売先が出てきており、売上げに影響がある。
- ・設計課において退職者、休職者（育休）、配置換え希望者が重ねて発生、現在残りのスタッフで残業し対応している。人材の確保が急務
- ・トランプ政権の動向が不安

### ◆サービス業

- ・コロナ資金の返済負担、仕入や経費の増加が売上高の上昇を上回っている。又、人件費、労務のシフト管理にも経営上諸問題が出ている。
- ・売上高は好転するも食材の値上げにより状況は不変。米が値下げになっても、酒類が値上げになっており、困っている

### ◆小売業

- ・物価高に伴う単価UPは続くものの客数は昨年を下回っている。新築は建たないが、リフォームの客が増え、建てるよりなおす増築がされるトレンドとなっている
- ・同業者の廃業が山陰地区で続いている。景気が悪い中、今お金を使うべきではないと考える方が多いように思う